

# 1 日目

## 3 年こそあど言葉

## 解答

1 次の文にあてはまる言葉を、あとのの中から  
 1つ選んで、記号を書きましょう。  
 ずっと昔、(ア)は、うみでした。  
 (ウ)川で、大きな魚をつりました。  
 (イ)が、有名な花です。

ア ( )    イ ( )    ウ ( )

2 次の文に当てはまる言葉を、あとのの中から  
 1つ選んで、記号を書きましょう。  
 (ウ)道を行くと、海に出ますか。  
 (イ)から、ゆかのそうじを始めたらい  
 ですか。  
 名前がないので、(ア)があなたのノートな  
 のか、分かりません。

ア ( )    イ ( )    ウ ( )

3 次の文にあてはまる言葉を、あとのの中から  
 1つ選んで記号を書きましょう。  
 (ウ)本は、きのう買ったものです。  
 (イ)へ行くのに、バスで十分かかります。  
 (ア)がほしかった本です。

ア ( )    イ ( )    ウ ( )



太陽	寒い	暑い	鉄橋	出血	追う	乗る	列車	送る	感想	読み
太陽	寒い	暑い	鉄橋	出血	追う	乗る	列車	送る	感想	なぞり書き
										一回目練習
										二回目練習

# 2 日目

# 3 年こそあど言葉

# 解答

1 ——— がさしている言葉を書きましょう。

音楽室の前を通った。そこから、歌が聞こえた。

( 音楽室 )

水そうで魚が泳いでいる。これは、ぼくがつつてきたものだ。

( 魚 )

ろうかでえんぴつをひろった。これは、だれのものだろう。

( えんぴつ )

さやま市駅についた。そこからバスに乗った。

( さやま市駅 )

2 ( ) にあてはまる言葉を書きましょう。  
 記号で書きましょう。

( イ ) が、あなたのくつですか。

( ア ) で、この本を買ったのですか。

( ウ ) 花がすきですか。

( ア ) まで行ったら休むのですか。

( ア ) へ行くにも、車がべんりです。

ア どこ イ どれ ウ どの

3 ——— がさしている言葉を書きましょう。  
 つけましよう。

横はまの港には、船がならんでいる。この中には、魚をとるための船やお客さんに乗せるための船がある。

ア 横はま

イ 港

ウ 船



打	君	来	美	荷	九	動	第	生	軽
(う)	(くん)	(らい)	(び)	(に)	(きゅう)	(どう)	(だい)	(せい)	(かる)
つ	主	客	化	物	州	作	一	命	い
	(しゅ)	(きゃく)	(か)	(もの)	(しゅう)	(さ)	(いち)	(めい)	
打	君	来	美	荷	九	動	第	生	軽
つ	主	客	化	物	州	作	一	命	い

読み  
 なぞり書き  
 一回目練習  
 二回目練習

1 国語じてんで、前に出ている言葉の方向に、○をつけましょう。

- ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

2 国語じてんに出ている順番を1から3の数で書きましよう。

- ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- 3 1 2 1 2 3 1 3 2 2 1 3 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- しやかい しゃかい しゃん ね ねこやなぎ ねんぎ かい かわ かめ いわ いし すな
- しょうかい



整	筆	田	日	消	育	植	大	取	中	読み
理	者	畑	光	化	つ	物	豆	る	秋	
整	筆	田	日	消	育	植	大	取	中	なぞり書き
理	者	畑	光	化	つ	物	豆	る	秋	
										一回目練習
										二回目練習

1 ——— の部分を国語じてんに出ている形になおしましょう。

(例) 手紙を書いた。(書く)

ジュースをのんだ。(のむ)

道にまよってしまった。(まよう)

荷物がおもくて持てない。(おもい)

海はとても遠かった。(遠い)

その日の朝は、すずしかった。(すずしい)

2 ( ) ( ) のことを国語じてんで調べ、

の文と同じいみで使われている文に○をつけましょう。

(たずねる)

交番で駅の場所をたずねる。

( ) ( ) 友達の家をたずねる。

( ) ( ) けつせきの理由を電話でたずねる。



昭 和	学 級	委 員	旅 行	海 外	二 階	鼻 歌	歯 科	白 玉	牛 乳	読み (きゅうにゅう)
昭 和	学 級	委 員	旅 行	海 外	二 階	鼻 歌	歯 科	白 玉	牛 乳	なぞり書き
										一回目練習
										二回目練習

1 の漢字を次の部分を持つ漢字を  
三つずつ書きましよう。

(くさかんむり)【三つ】

落 葉 薬 など

(うかんむり)【三つ】

安 実 家 など

(たけかんむり)【三つ】

算 第 筆 など

(しんにょう)【三つ】

速 運 通 など

(まだれ)【三つ】

広 度 庫 など

⑥ (くにがまえ)【三つ】

園 園 国 など



一 度 <small>(いちど)</small>	重 い <small>(おも)</small>	飲 む <small>(の)</small>	薬 局 <small>(ちやくきょく)</small>	医 者 <small>(いしや)</small>	病 気 <small>(びやうき)</small>	転 ぶ <small>(ころ)</small>	消 息 <small>(しょうそく)</small>	作 業 <small>(さぎやう)</small>	駅 前 <small>(えきまえ)</small>	読み
一	重	飲	薬	医	病	転	消	作	駅	なぞり書き
度	い	む	局	者	気	ぶ	息	業	前	
										一回目練習
										二回目練習

# 6 日目

## 3 年漢字の組み立て

学習した日 / ( )

1 【 】に次の部首の漢字（と送

りかな）を書きましよう。

（くさかんむり）

くるしい 【 苦しい

おちゃ 【 お茶

（うかんむり）

さむい 【 寒い

まもる 【 守る

さだめる 【 定める

（たけかんむり）

ふえ 【 笛

こたえ 【 答え

ひとしい 【 等しい

（しんにょう）

おくる 【 送る

とおい 【 遠い

ちかい 【 近い

みち 【 道



列島	電波	放つ	汽笛	手帳	期待	苦い	幸福	大根	起立
（れいとう）	（でんぱ）	（はな）	（きてき）	（てちょう）	（きたい）	（にが）	（こうふく）	（だいこん）	（きりつ）
列島	電波	放つ	汽笛	手帳	期待	苦い	幸福	大根	起立

読み  
なぞり書き  
一回目練習  
二回目練習

# 7 日目

## 3 年つなぐ言葉

## 解答

1 ( ) ( ) に合う言葉を  から  
えらんで、二つの文をつなぎま  
しょう。

やくそくの時こくになった。

(でも) 友達はまだ来ない。

ちゅう車場まで歩いて一時間か  
かった。(さらに) そのあと三十  
分歩いた。

かぜをひいてしまった。(だから)  
学校を休むことにした。

図書館まで歩いていきますか。  
(それとも) バスで行きますか。

雨がふりそうだ。(だから) かさ  
をもって行きなさい。

それとも・だから・でも・さらに



受	起	平	二	申	悪	電	守	拾	待	読み
ける	きる	ら	倍	す	い	池	る	う	つ	なぞり書き
受	起	平	二	申	悪	電	守	拾	待	一回目練習
ける	きる									二回目練習

# 8 日目

## 3 年主語・<sup>じゆつ</sup>述語・<sup>しゅうしょく</sup>修飾語

# 解答

1 次じゆの文の主語、述語じゆ、修飾語しゅうしょくの

部分ぶぶんにそれぞれ線を引き、主語の線の

横よこには（ア）、述語じゆの横よこには（イ）、修飾語しゅうしょく

飾語しゅうしょくの横よこには（ウ）を書きましよう。

（例）遠とほくに富士山ふじさんが見みえる。

ぼくは、毎日まいにち新聞しんぶんをを読よむ。

消けしゴムが、つくえから落おちた。

電車でんしゃにに乗のるのが、楽たのしみです。

弟あには毎日まいにちおふるををそそうじする。



投 <small>(な)</small>	悲 <small>(かな)</small>	負 <small>(ま)</small>	電 <small>(でん)</small>	勉 <small>(べん)</small>	放 <small>(ほう)</small>	選 <small>(せん)</small>	野 <small>(や)</small>	研 <small>(けん)</small>	細 <small>(こま)</small>
げ	し	け	波 <small>(ば)</small>	強 <small>きやう</small>	送 <small>そう</small>	手 <small>て</small>	球 <small>きゅう</small>	究 <small>きゆう</small>	か
る	い	る	電	勉	放	選	野	研	細
投	悲	負	波	強	送	手	球	究	か
げ	し	け							
る	い	る							

読み  
なぞり書き  
一回目練習  
二回目練習



# 9 日目

## 3 年 ことわざ

### 解答

1次のことわざの意味としてふさわしいものをあとのアからオの中からえらび、( ) ( ) の中に書きましよう。

- 急がば回れ ( ) ア ( )
- 石の上にも三年 ( ) ウ ( )
- 住めば都 ( ) オ ( )
- 負けるが勝ち ( ) イ ( )
- 善は急げ ( ) エ ( )

ア 急ぐときには、遠くて安全な道に行く方が、危険な近道をするよりも結局は早く目的地に着くというたとえ。

イ 相手に勝ちをゆずる方が、最後は自分の得になることのたとえ。

ウ がまん強く努力すれば、必ず成功するというたとえ。

エ よいと思ったことは、ためらわないですぐに行ったほうがいいというたとえ。  
オ 住みなれば、どんな場所であってもそれなりに住みよくなるというたとえ。

宮 (みや)	日 (にっ)	千 (ち)	上 (じょう)	勝 (しょう)	羊 (よう)	車 (くるま)	運 (うん)	石 (せき)	走 (そう)	読み
大 (だい)	記 (き)	代 (だい)	等 (とう)	負 (ふ)	毛 (もう)	庫 (く)	転 (てん)	炭 (たん)	者 (しゃ)	なぞり書き
工 (く)	帳 (ちよう)	紙 (かみ)	上 (じょう)	勝 (しょう)	羊 (よう)	車 (くるま)	運 (うん)	石 (せき)	走 (そう)	一回目練習
宮	日	千	上	勝	羊	車	運	石	走	二回目練習
大	記	代	等	負	毛	庫	転	炭	者	
工	帳	紙								

# 10 日目

## 3 年ことわざ

## 解答

1 次のことわざの意味としてふさわしいものをあとのアからオの中からえらび、( ) の中に書きましょう。

聞くは一時のはじ 聞かぬは一生のはじ ( ) オ

仏の顔も三度まで ( ) ア

石橋をたたいてわたる ( ) エ

ねこに小ばん ( ) ウ

飛んで火にいる夏の虫 ( ) イ

アどんなにおとなしい人でも、何度もひどいことをされると、最後にはおこるといふことのとたとえ。

イ自分からあぶないことにとびこんでいくことのとたとえ。

ウどんなに値打ちのあるものでも、その分からないう者には意味がないことのとたとえ。

エとても用心深いことのとたとえ。

オ知らないことを聞くのはその時ははずかしいが、知らないままできると、一生はずかしい思いをすることのとたとえ。



薬箱 (くすりばこ)	坂道 (さかみち)	祭り (まつり)	予想 (よそう)	役所 (やくしょ)	苦労 (くろう)	海岸 (かいがん)	速度 (そくど)	口笛 (くちぶえ)	寺院 (じいん)
薬箱	坂道	祭り	予想	役所	苦労	海岸	速度	口笛	寺院
薬箱	坂道	祭り	予想	役所	苦労	海岸	速度	口笛	寺院

読み  
なぞり書き  
一回目練習  
二回目練習